



議会だより

第64号

子どもの笑顔が未来に続く
幸せ実感都市 木津川

木津川市議会



今期最後の定例会	本 会 議	2~3
選挙を控えた骨格予算	予算特別委員会	4~5
常任委員会		7~9
11人が市政を問う	一 般 質 問	14~19

きれいな教室で
勉強がんばるぞ
木津小学校 新校舎

らむ5年度予算

3月定例会は、2月20日から3月17日まで、26日間の会期で開催。同意5件、議案33件、議員提案5件を審議し、議員提案3件を除き、同意・可決した。

一般会計予算

予算総額317億円。4年度に比べ約29億円減額。木津・相楽小学校の校舎改築事業、JR奈良線の複線化、城陽井手木津川バイパスの地籍調査や光熱水費の増加。会計年度任用職員人件費や扶助費の増など、経常経費は増加。

Q 学校給食費の物価高騰に対する補助金は。

A 4年度の補助に加え、物価上昇率3%分を市が負担する。

反対討論

酒井 弘一

無謀な新消防庁舎建設。他で実施の高校生の医療費無料に背を向ける。北陸新幹線延伸に力を入れ、

身近なバス・鉄道を便利にする施策が後回し。

賛成討論

福井 平和

骨格予算という制約の



奈良線を走るお茶の京都ラッピング電車

もとで、事業の継続性や緊急性のある施策を最大限措置。改選後の補正予算に効果的につなげていく河井市政仕上げの予算。

どい。昨年窓口負担を2倍にし、今また保険料最高額80万円までの引き上げは所得の14%に及ぶ。市は軽減措置を行え。

賛成多数で可決

(賛成15人・反対4人)

賛成討論

長岡 一夫

医療の高度化もあり、一人当たりの医療費も増加傾向にある。安心して医療を受けるために本制度を持続可能としていくべきであり、賛成。

後期高齢者医療予算

予算総額12億1129万円。4年度に比べ3442万円2・9%の増額。

Q 一定の所得がある者の窓口負担が増えたが、市の考えは。

A 負担はやむを得ない。厳しい状況で国の負担割合の増を要望している。

反対討論

酒井 弘一

国の高齢者いじめがひ

賛成多数で可決

(賛成16人・反対3人)

下水道会計予算

①下水道事業収入・支出ともに24億5301万円。
②下水道整備費・流域下水道負担金・借金返済の支出15億165万円。

物価高で経費膨

Q 物価高で市民の暮らしは苦しい。使用料の軽減や免除が必要では。

A 一般会計に依存した予算で、安定的な経営のために料金改定は必要。

反対討論 宮嶋 良造

物価高で生活が苦しい時に使用料を20%値上げし、それを予算に反映。使用料の軽減や免除の提案にも最後まで拒否する市民に冷たい市政。

賛成討論 兎本 尚之

公共下水道は、市民の暮らしに必要不可欠な公共インフラ。予算案に反対ということは、どういうことを意味するのか。良識ある議員の賛同を。

反対討論 高味 孝之

物価高に賃金が追いつかない中で値上げを強行時を見ない政治は支持されない。企業努力など値上げの前に行うことがある。予算執行は中止に。

賛成多数で可決

(賛成13人・反対5人・退席1人)

水道事業会計予算

①水道事業収入19億986万円、支出20億525万円。9539万円の赤字予算。4年度末繰越利益が1億円以上の見込み。
②水道整備費・借金返済の予算6億9083万円。

Q 赤字予算の理由は。

A 電気代が2倍、収入不足、繰越利益で黒字に。

反対討論 宮嶋 良造

京都市以外の府内の市には置いていない水道事業管理者を置き、将来、宮ノ裏浄水場の廃止につながる府の水道広域化計画を進めるので反対。

賛成討論 倉 克伊

経営状況は決算からも良好であり、5年度も健全経営を維持、今後は施設の老朽化等環境が厳しくなる。将来にわたり持

続可能な事業運営を望む。

反対討論 山本のぶ

府が進める水道事業の広域化については、市長が自ら市民に説明し、意見を聞き、議会で議論を進めるべき。上下水道事業管理者は必要ない。

賛成多数で可決

(賛成15人・反対4人)

送迎バスの安全対策

Q 市内で送迎バスは何台あるのか。

A 民間児童クラブ1台、市立幼稚園4台、民間幼稚園2台、民間認定こども園4台を保有。

Q ①今まで危険事象はあったのか。

②虐待や不適切保育の確認をしているのか。

A ①これまで事例はない。②現在、調査中。

全員賛成で可決

5年度ワクチン接種にかかる補正予算第1号

補正額2億5277万円。総額319億7577万円。

Q 対象人数と市民への広報は。

A 65歳以上・基礎疾患

等・医療従事者も含め2万2543人を想定し、早急に案内する。

Q 無料接種の継続を国に求めていくべき。

A 全国市長会から要望している。

全員賛成で可決



安全対策が実施される市立幼稚園の送迎バス

選挙を控えた317億円の骨格予算

予算特別委員会

3月9日・10日・13日の3日間、予算特別委員会を開会。

317億2300万円の一般会計予算案を審査し、賛成多数で可決した。

主な質疑

総務部・マチオモイ部他

5年度予算

Q 骨格予算だが過去2番目の規模となる理由は。

A 木津小・相楽小の改築事業などの継続事業に加えて、光熱水費の増加などによるもの。

税収増の理由は

Q 税収額が過去最大になった理由は。

A 大規模な工場の建設などで課税標準額が増加し、主に固定資産税の増収につながった。

若者の選挙参加

Q 期日前投票所の若者の立会人登録状況は。

A 30歳代以下の方の登録者数は、元年では6人だったが、現在は43人に増加している。全体の登録者数の約50%となっている。

スマホ教室の充実

Q 市民向けスマホ教室の内容は。

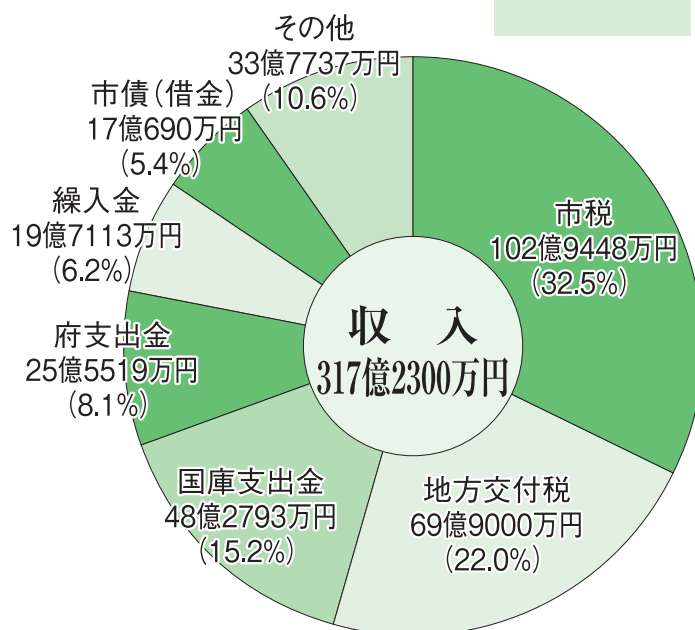
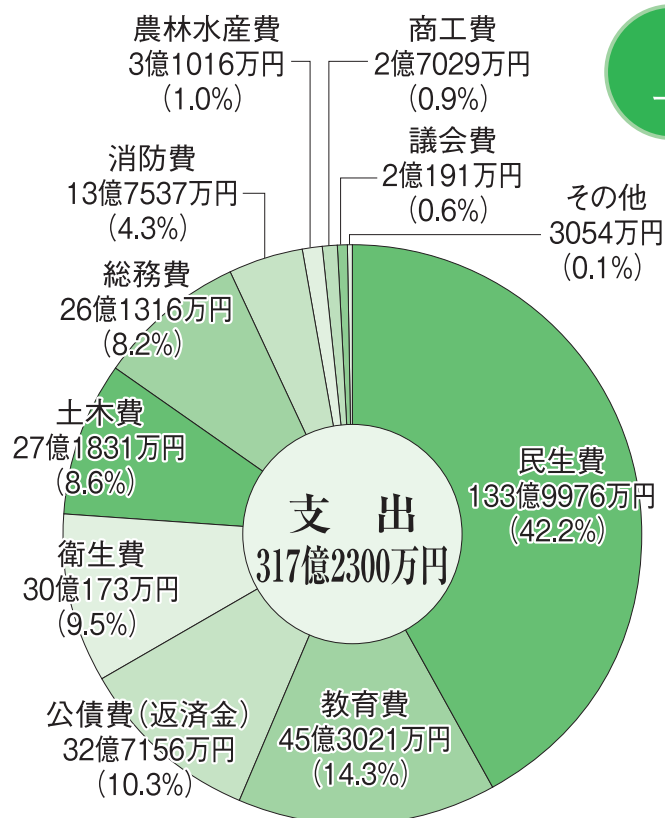
A 高齢者のサロン活動に向き、相談対応を行うのが効果的であり、5年度も引き続き行う。

ふるさと納税

Q 自主財源の確保が必要である。目標額は。

A 目標は1億円。新たな産業の創出や更なる広報等も行いたい。

令和5年度一般会計予算



(万円未満は切り捨てのため合計金額は一致しません)

意見書

建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める

提出者 倉 克伊
賛成者 宮嶋 良造・森本 茂
柴田はすみ・玉川 実二

- ① アスベストによる健康被害者の治療法の研究開発に予算を確保すること
- ② 被害者の救済制度の充実を図ること
- ③ 適切に給付金制度の見直しを図ること
- ④ 大気汚染防止法による建物解体など飛散防止対策の財政支援を行うこと
- ⑤ 建築物所有者等に対する調査・除去費用の補助制度を拡充すること
- ⑥ アスベストによる健康被害、関連法改正の周知徹底及び飛散防止対策の実施状況調査を強化すること



アスベスト撤去工事

Q 議会が意見書を提出することになった経緯は。

A 府議会で全会一致で採択され、各自自治体でも提出する必要があるという意見があったため。

賛成多数で可決

(賛成17人・反対2人)

国に介護保険制度の改善を求める

提出者 酒井 弘一
賛成者 山本しのぶ

介護保険は、必要なサービスを利用できない実態が広がる。介護事業所では、深刻な人手不足と

低い介護報酬のもと経営難が続いている。

人手不足を解消し、行き届いた介護の実現のため、処遇改善と介護従事者の大幅増員を求める。

① 利用料の引き上げ、要介護1・2の生活援助などの保険はずしなどを行わないこと。

② 公費により、介護従事者の給与水準を引き上げること。

③ 介護保険制度の抜本的な見直しと、介護保険財政の国庫負担割合を大幅に引き上げること。

Q 介護保険制度は平成12年に始まり、見直しは絶えず必要ではないか。

A 利用者や介護従事者にとって改悪になる見直しには反対する。

賛成少数で否決

(賛成4人・反対15人)

子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める

提出者 宮嶋 良造
賛成者 山本しのぶ

子どもの発達を保障し、子育て家庭を支えるには保育士増員が急務。

保育士配置基準の引き上げによる増員、処遇の改善を国に求める。

① 配置基準を引き上げ、保育士増員を図ること。

② 公定価格を引き上げ、処遇改善を図ること。

Q 職場の改善も必要だと思うが、現在でも保育士不足。さらなる保育士不足が心配。

A 国が定めている保育に必要な費用を引き上げ、処遇改善を行う。

賛成少数で否決

(賛成4人・反対15人)

普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の保障を求める

提出者 西山幸千子
賛成者 山本しのぶ

米軍機からの落下物事故、低空飛行、騒音などの被害。また、宜野湾市の水道水や湧水から2022年8月には有機フッ素化合物が検出。子どもたちの安全と生命を守るために保障を求める。

① 学校上空を飛行禁止に。

② 普天間第二小学校内の土壌調査及び有機フッ素化合物汚染の土壌替え。

③ 空・水・土の安全保障。

Q 辺野古への基地移設計画で未決定事項が多い。どう考えているのか。

A 移設は意見書にうたっていない。子どもたちの権利を守るための意見書。

賛成少数で否決

(賛成4人・反対15人)

相楽小北校舎 改築工事始まる

総務文教委員会

2月22日・3月7日に委員会を開会し、議案12件、報告2件を審査した。

全議案可決

消防団員の出勤報酬等の見直し

Q 消防団員の確保には、市内の企業との協力体制が必要ではないか。

A 商工会や郵便局などにも依頼したい。

Q 消防団活動に係る必要経費の支出は。

A 5年度から報酬は完全に個人に支給する。必要備品を整理し、消防団と調整していく。

全員賛成で可決



生命と財産を守るため活動する消防団

ふるさと市町村圏振興事業の廃止

事業廃止に伴い広域事務組合の基金を清算。市へは3億5486万円が返還される。

Q 返還金は、公共施設等整備基金に積み立てるが、その後の活用方法は。

A 大谷処理場の改修工

事の償還が始まることもあり、活用方法は協議しながら進める。

全員賛成で可決

相楽小学校北校舎改築等工事

契約先 大木建設（株）

大阪支店

契約金額 7億4019万円

工事概要 校舎棟（鉄筋コンクリート造3階建）

工期 5年12月22日まで

Q 最初に入札が不調となり、再度入札し契約しているが、違いは。

A 入札参加要件を、市内業者と大手建設業者のJV（共同企業体）としていたが、2回目は単独参加も可能とした。

Q 大木建設（株）の工事実績は。

Q 豊中市の小学校、大学の学習センター、老人ホーム等の建設。

A CO₂削減のために、どんな点を考慮したのか。また太陽光パネルの設置は。

Q 断熱材・複層ガラスの使用、LED化や一部で人感センサー付きの照明を設置している。

A 太陽光パネルの設置は考えていない。

全員賛成で可決

旧当尾村財産区予算

Q 勝風の里道の補修内容は。

A 墓地への里道の拡幅と木の伐採。

全員賛成で可決

旧木津町準財産区予算

Q 市坂の事業補助の内容は。

A 市坂集会所の修繕と水利ポンプ機器の修理と維持管理である。

Q 区民健康回復維持増進事業の内容は。

A 市坂区が行う体操教室の講師への謝礼と保険代である。

全員賛成で可決

旧瓶原村財産区予算

Q 岡崎の公民館の改修内容は。

A 屋根の葺き替え、照明のLED化、防草シートの設置。

全員賛成で可決

旧木津町準財産区予算

出産育児一時金 50万円に増額

厚生委員会

2月24日・3月3日に委員会を開会し、議案12件を審査した。

全議案可決

国保条例の改正

Q 改正の内容は。

A 条例で出産育児一時金として40万8千円、規則で産科医療補償制度の掛金として1万2千円と定めている。

改正により一時金を48万8千円とし、合計50万円となる。

全員賛成で可決

児童発達支援センター

Q 事業開始の予定は。

A 既存の相楽療育教室に併設する。多目的トイ



児童発達支援センターが併設される相楽療育教室（木津清水）

Q センターの人的配置は。医師の配置はどうか。

A 現在の職員で継続を予定している。医師を常駐させることは考えていない。

全員賛成で可決

送迎バスの安全対策

Q 今回の改正で、送迎バスにブザー等の安全管理機器の設置が求められている。確認や指導の方法は。

A 現状の運用を確認し、指導・指示するなど、今後も強化していく。

全員賛成で可決

5年度国保会計予算

Q 税込減少の理由は。

A 毎年千人強の被保険者が75歳になり、後期高齢者医療に移行することで、被保険者数が減少している。

Q 基金の残高は。

A 5年度当初予算で、4億2912万円。

全員賛成で可決

5年度後期高齢医療予算

Q 保健事業が増額した理由は。

A 4年度実績を踏まえ、人間ドック・健康診査の受診者数増を見込んだ。

Q 保険料の最高額が引き上げられる予定だが、対象者数は。

A 国では、高齢者医療を全ての国民で公平に支え合う仕組みとして、高齢者も能力に応じて負担する見直しが行われている。対象者数は把握していない。

反対討論

保健事業は評価するが、全体的には高齢者いじめの制度となっている。

賛成多数で可決

5年度介護保険予算

Q 成年後見制度の事業費が増額となった理由は。

A 高齢者の増加に伴い、利用者も増加する見込み。

Q 地域包括ケアシステムは、地域支援事業の中核である。5年度の強化策は。

A 市と地域包括支援センターで情報共有する「ほのぼのシステム」を更新する。関係機関と連携し、相談・支援体制の構築に引き続き取り組む。

Q ボランティアで行っている配食サービスを民間委託する考えは。

A 高齢化など課題もあるが、やりがい・生きがいをもって自発的に活動されており、今後もこの形で進めたい。

全員賛成で可決

下水道の値上げで 1億7600万円の増収

産業建設委員会

2月27日委員会を開会し、
議案5件を審査した。

全議案可決

5年度公共下水道会計 予算

Q 下水道使用料が改定されたが、一般会計からの繰入金はいくら減額となったのか。

A 有収水量を754万^mと推定すると1億7600万円程度の増収。

一般会計からの繰入額はさまざまな経費等を除き、減額が約1億4700万円である。

Q 過疎対策債の活用は。
A 加茂浄化センターの施設更新工事費の財源として事業費の1/4に充当した。

Q 経営戦略の内容と策定期間は。

A 今後の人口減少を越した料金収入の反映や施設の老朽化対策、物価上昇等の反映などを含め事業の今後を見通し、5年度に策定する予定。

反対討論

下水道使用料の値上げに反対の立場から、この予算には反対。

賛成多数で可決

5年度水道事業会計予算

Q 5年度予算で水需要はどれくらいと見込んでいるのか。

A 803万^mを見込んでいる。

Q 水道ビジョン中間見直しのポイントは。

A 電気代や資材価格の高騰。7年度以降に府営水道の受水単価の上昇が予想される。加茂地区の整備計画の反映の3点である。

反対討論

府が進める水道事業の広域化は自己水を無くすことにつながり反対。

賛成多数で可決

4年度公共下水道会計 補正予算第2号

Q 加茂浄化センターの施設更新工事について、国からの交付金が減額と

なっているが、事業への影響は。

A 工事発注時の設計の精査、工事内容の変更により対応できる。今後に影響は無い。

全員賛成で可決

市営住宅管理条例の改正

市営住宅のうち例幣団地を削除するもの。

Q 1月25日に市営住宅管理審議会で審査された内容は。

A 審議会での改正の経過説明を行った。各委員からの意見は特になかった。

公営住宅整備基準条例 の改正

住宅整備における基準を公営住宅に限らず、すべての市営住宅にも適応させるもの。

全員賛成で可決



入居希望者が多い下川原市営住宅

予算執行や事業進捗状況に対応

補正予算特別委員会

2月28日に委員会を開会。一般会計予算に1億9124万円を増額し、377億8436万円とするもの。

主な質疑

防災情報メール登録者

Q スマート防災普及事業の実施で、市防災情報メールや市公式LINEアカウント登録者は増加したのか。

A 市防災情報メールは、7700件から2万件、市公式LINEアカウントは、2200件から1万7千件に増加した。

南綺田消防団詰所の改築

Q 改修工事の事業費が次年度に繰り越しされた理由は。

A 当初、4年度に旧棚倉児童クラブと旧詰所を

同時に解体し、新築する計画であった。旧詰所は、新詰所建築後の解体に変更。加えて、コロナ禍による資機材の納入が遅れたため。

完成は6年3月の予定。

市民まつり（花火大会）

Q 4年11月に行われた市民まつりはコロナ臨時交付金を充当していたが、減額となった理由は。

また、今後の予定は。

A 企業版ふるさと納税により財源を確保できたため、交付金の充当は不要となった。

5年度も予算を計上したが、開催は実行委員会が協議し決定される。

地域介護・福祉空間整備事業交付金

Q 交付金がつかなかった理由は。

A グループホームの2事業所から申請があったが、全国的に希望が多く、国の判断により不採択となった。

給食センターの光熱水費

Q 第一学校給食センターの光熱水費は87万円が増額されているが、この額で大丈夫か。

A 12月に補正したが、料金の高騰で再度の補正をするもの。

今年度は電気代ガス代の高騰と1月以降に法人特約がなくなったことが

大きい。状況を見ながら調理器具等の利用も検討したい。

示物を設置しては。

木津川台駅への歩道橋

Q 市民にも分かるよう工事の進み具合を示す掲

A 木津川台地域と吐師地域には工事の回覧をしているが、業者とも調整し、検討したい。

全員賛成で可決



工事が始まった木津川台駅歩道橋

補正予算第9号の主な事業

- ・各種基金の積立3億7069万円増
- ・中小企業融資制度利子・保証料補給事業補助金103万円増
- ・京都地方税機構負担金556万円
- ・地域介護・福祉空間整備事業交付金△1323万円皆減

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員
高岡 伸行	兎本 尚之	山本しのぶ	森本 茂	山本 和延	長岡 一夫	宮嶋 良造	柴田はすみ	河口 靖子	〃

採 決 結 果		議案名(第1回定例会)									
		5年度一般会計予算	5年度後期高齢者医療特別会計予算	5年度公共下水道事業会計予算	5年度水道事業会計予算	4年度旧北村旧免並村旧里村財産区特別会計補正予算第1号	国に介護保険制度の改善を求める意見書	子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書	普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の保障を求める意見書	建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書	
議 員 名	会 派 名										
福井 平和	コスモス	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
兎本 尚之	コスモス	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
炭本 範子	コスモス	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
倉 克 伊	みのり	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
長岡 一夫	みのり	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
谷口 雄一	みのり	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
伊藤紀味枝	みのり	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
酒井 弘一	共 産 党	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
西山幸千子	共 産 党	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
宮嶋 良造	共 産 党	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
森 本 茂	和 み	○	○	退	○	退	×	×	×	○	
高味 孝之	和 み	○	○	×	○	○	×	×	×	○	
柴田はすみ	公 明 党	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
大角 久典	公 明 党	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
玉川 実二	改 革	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
高岡 伸行	改 革	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
山本しのぶ	無 会 派	×	○	×	×	○	○	○	○	○	
山本 和延	無 会 派	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
河口 靖子	無 会 派	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
森 本 隆	議 長 (コスモス)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
採 決 結 果		可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	否 決	否 決	否 決	可 決	

コスモス＝新風コスモスの会 みのり＝みのり会 和み＝和みの会 改革＝改革木津川
共産党＝日本共産党木津川市議員団 無会派＝会派に属さない議員



市議会中継 スマホに対応

ぜひ、ご利用ください。
今後も、より開かれた議会を目指し取り組んでまいります。

<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>



木津川市議会 検索

組 合 議 会 報 告

5年度予算を審議

(京都地方税機構)

2月1日、定例会開会。
同意1件、議案7件を審議。

監査委員に山内実貴子氏(宇治田原町議)選任。

全員賛成で同意

○5年度一般会計予算
総額23億1082万円。
市の運営費負担金は6392万円。

賛成多数で可決

○4年度補正予算第1号
1億8878万円を増額し、総額25億2158万円。
収入は、構成団体の負

担金等。

支出は、職員の人件費や業務運営費等を増額。

全員賛成で可決

○個人情報保護法の一部改正で新条例を制定。
個人情報保護法の施行に必要な事項を定める。

賛成多数で可決

5年度予算を審議

(環境施設組合)

2月8日、定例会開会。
議案5件を審議。
一般質問4人。

一般質問4人。

○5年度一般会計予算

収入支出とも7億1871万円。4年度に比べ5848万円減額。

収入は、市の分担金3億1801万円。前年度比2933万円減額。

支出は、ごみ焼却処理費4億5844万円。前年度比8015万円減額。

全員賛成で可決

○個人情報保護法の一部改正で新条例を制定。

全員賛成で可決

○職員の定年を段階的に65歳にする。

全員賛成で可決

回復期リハビリテーション病棟スタート

(山城病院組合)

全員賛成で可決

2月9日、定例会開会。

同意1件、承認1件、議案8件を審議。
一般質問1人。

一般質問1人。

○山城病院事業会計予算

5年4月に回復期リハビリテーション病棟34床が始まる。事業収益・事業費用は、ともに93億8537万円。

全員賛成で可決

○介護老人保健施設事業会計予算

回復期リハビリテーション病棟の整備で、老健の事業規模を縮小。
事業収益は4億4264万円、事業費用は5億1128万円の赤字予算。

全員賛成で可決

○病院の職員の定年を段階的に65歳にする。医師の定年は現行の65歳を段階的に70歳にする。

○個人情報保護法の一部改正で新条例を制定。

全員賛成で可決

○個人情報保護法の一部改正で新条例を制定。
個人情報の開示請求の

賛成多数で可決

手数料を定める。

Q 企業の利益のために匿名加工情報を提供するのか。

A 匿名加工情報の提供は行わないが、法律にある手数料を定める。



リハビリのための歩行訓練装置
(京都山城総合医療センター)

5年度予算を審議

(後期高齢者医療)

2月10日、定例会開会。
議案8件を審議。
一般質問1人。

A 5年ごとの機器の更新で、5年度は更新時期。クラウド化に変更し、独自にカスタマイズしている。

賛成多数で可決

○個人情報保護法の一部改正で新条例を制定。

○5年度特別会計予算4027億1114万円。

Q 法律の目的は、「個人情報」の効果的な活用が新たな産業の創出」だが。

A ビッグデータ化で、産業の創出につながる。

賛成多数で可決

○低所得者の保険料を軽減するために、所得基準を引き上げ、5割・2割軽減の対象者を増やす。

全員賛成で可決

○5年度一般会計予算17億4051万円。

Q 電算システム機器更新費10億5208万円の内容は。

○5年度一般会計予算収入支出とも35億8240万円。前年度比16億850万円、81・5%の増。

○個人情報保護法の一部改正で新条例を制定。

Q 大谷交差点、天神山交差点の改良計画は。

A 大谷交差点の安全確保は市と協議中。天神山交差点では、安全を確保して走行している。

Q 救急安心センターきよとの負担金の増額は。

A 相談員の増員のため。

反対討論の後、採決。

賛成多数で可決

府・市町村に基金返還

(広域事務組合)

2月15日、定例会開会。議案9件を審議。

一般質問2人。

○名称変更

5年4月1日から相模広域行政組合となる。

Q 名称変更は全ての条例に適用されるのか。

A 規則・規程・要綱も変更になる。

○ふるさと市町村圏振興事業の廃止、基金設置条例の廃止に伴い1市4町村に基金から返還される。

○5年度一般会計予算収入支出とも2億8700万円。

収入は、分担金と負担金。

2月16日、定例会開会。議案3件、同意1件を審議。笠置町議会の役員改正で新条例を制定。

5年に一度の予算計上

(加茂笠置組合)

金など。

支出は、衛生費2億3491万円、商工費1336万円。

○5年度会計予算収入支出とも総額7984万円。5年に一度の財産区特別会計繰出金に6千万円。

Q 休日応急診療所の経費は。

A 1日15人の受診者で、医師の報酬は2万円。

Q 線下補償金の笠置町分が係争中だが、影響は。

A 新たな負担はない。

全員賛成で可決

○個人情報保護法の一部改正で新条例を制定。

全員賛成で可決

○4年度補正予算1号収入支出ともに45万円減額。議会研修が行われなかったため。

全員賛成で可決

監査委員に向出健氏(笠置町議)選任。

全員賛成で同意



今回は最後となった「相模の文化を創るつどい」(南山城村やまなみホール)

一般質問

11人が市政を問う

一般質問では、議員が調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに政策提言を行い、行政（市長）に方針や見解を問うものです。

答弁者の肩書きは省略しています。

市議会中継
スマホに対応



高齢者にとって住み良いまちとは

慣れた地域で安心して住めること



日本共産党
西山幸千子

全ての人に優しい市へ

Q ①ファミリーシップ制度の条例制定は。

②学校トイレに生理用品を。③火葬料金に補助を。

④公共施設のキャンセルには返金を。

A 市民部・教育部他

①啓発を図る。②③考えていない。④取り扱わない。

Q 高齢化が進む加茂

地域が国から「過疎地域」の指定を受けた。

①指定のメリットは。どう発展させるのか。

②人口増への対策は。

③免許証返納後の移動手段の確保は。

A 市長・政策監他①有利な過疎対策事業債

が使える。地域活性化に

取り組む。②若い世代の定着を図る。③コミバス

や公共交通が持続できるよう、利用促進を進める。

障がい児も地域の学校で

Q ①児童がスムーズに入学できるには。

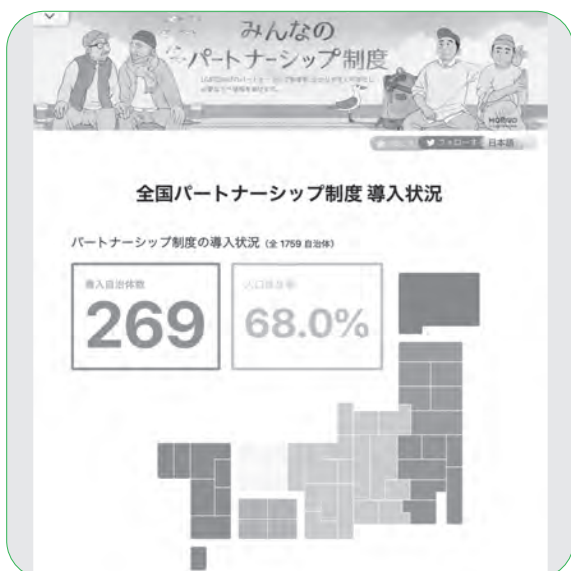
②地域と学校の連携は。

③人数の傾向は。④城山台小の特別支援学級は。

A 教育部①情報共有を密にして、相談支援

を行い決定。②コロナ禍で中断している。③4年度入学児は高い傾向。

④5年度は1クラス増の10クラス。



全国で広がるパートナーシップ制度



中学校の制服代に補助を

河井市政16年間の市民幸福度は

暮らしやすさ「ほぼ満足」

Q 市長が掲げた「地域ごとに特色のあるまちの発展度」は、どこまで達成できたのか。

A 市長 木津川アートを通じて、地域間の交流促進や市民による新たな活動につながった。

Q 市民の幸福度は。

A マチオモイ 市民アンケートの結果、半数が「ほぼ満足」と回答した。

Q 学研都市や豊かな自然と歴史・文化遺産を生かしたまちづくり、市民が安心・安全に暮ら



無会派

河井 靖子

Q 南加茂台のコミュニティバス検討委員会の進捗状況は。今後の市の対応とアンケート結果の分析は。

A マチオモイ 協議会への申請後、実証実験に値するかどうかを調査し、運行計画を立てるか判断する。
コミバスを知らない人が多数いることに驚いている。



国道24号の渋滞緩和が期待される木津東バイパス

子ども医療費無償化を18歳までに

市の助成制度の在り方を検討

Q 府の制度を利用した子どもの医療費の無償化を拡充しては。

A 市民部 子育て全般で支援を考える。

Q 離婚後の養育費の不払いの相談が多いと聞くが、対応は。

A 健康福祉部 公益社団法人家庭問題情報

Q センターを紹介。離婚後養育費を受け取り続けている方は20%程度。公正証書の作成は有効であり、費用の補助制度を。

A 健康福祉部 全国で100以上の自治体で補助をしている。事例や課題を検討する。

Q ①夏季は持参した水筒だけでは足りない。②SDGsの観点から、



公明党

柴田はすみ

Q 中学校の制服は高額である。補助等はできないのか。

A 教育部 準要保護世帯には、入学時6万円を支給。

Q ①夏季は持参した水筒だけでは足りない。②SDGsの観点から、

A 教育部・市民部 ①2中学校にPTAとの協議で設置済み。他校からは要望はない。②公共施設等に給水スポットを設置する場合、事業者に補助できるか検討。要望があれば活用。

循環型社会基金の活用はできないか。
①2 教育部・市民部 ①2中学校にPTAとの協議で設置済み。他校からは要望はない。②公共施設等に給水スポットを設置する場合、事業者に補助できるか検討。要望があれば活用。



閉鎖された加茂駅西の駐車場トイレ

小中学校の在り方検討の結果は

子どもの能力・適性を伸ばすため

Q ①なぜ小中一貫校を目指すのか。②4月以降の議論はどう進める。

A 教育部 ①子どもの能力と適性を最大限に伸ばす体系の1つ。②検討する組織や進め方は今後の協議。

Q 児童減少と小中一貫校は必然性がない。

A 教育長 全国249の市区町村が小中一貫校を実施。

Q 城山台小学校のトイレは足りているか。

A 教育部 城山台小は女子便器1台に15人。男子は小14人、大36人。相楽台小は女子6人。男子は小9人、大17人。



日本共産党

酒井 弘一

街なかのトイレの周知を

Q ①トイレがある公園は。②まちかど観光案内所でトイレの借用は何箇所か。

A 建設部 ①20公園。②全84件中53件。観光のために加茂駅東西のトイレを常

時開放せよ。
A マチオモイ 街なかのトイレ整備は必要。

新消防庁舎の設計変更は

Q 市は増額理由に納得したのか。
A 副市長 設計変更は好ましくないが、やむを得ないこともある。

恭仁宮の特別史跡への進捗状況は

7年度昇格に向けて取り組む

Q 3年間で具体的に何をすべきなのか。

A 教育部・マチオモイ 6年度に「史跡恭仁宮跡保存活用計画」を策定。7年初頭に意見具申書を文科大臣に提出する予定。

る構想がある。市でも観光施策を進めて行きたい。

検討課題の実現に向けて

府では、南部地域全体の観光や流通の拠点にする予定。

府では、南部地域全体の観光や流通の拠点にする予定。

Q なぜ、手話言語条例を制定しないのか。

A 健康福祉部 手話に触れ合うことや啓発・周知が足りない。



新風コスモスの会

炭本 範子

Q 国では、LGBT（性的マイノリティ）理解増進法の成立を急いでいる。ファミリーシップ制度の検討は。

A 市民部 男女共同参画審議会で見聞交換をした。国の動きと合わせながら議論を積極的に行う。

Q 近い将来、スマート農業の時代が来る。ほ場整備は必要である。農家の負担が少ない事業はあるか。

A マチオモイ 加茂町高田では、農地中間管理機構関連の事業を進めている。受益者負担はない。地元と計画を策定中である。機運の高まる時に着手し、他の地域も進めたい。



大極殿跡の礎石（恭仁宮跡）



バリアフリー化が待たれる上狛駅

Q 3年12月議会から上狛駅のバリアフリー化に向けての質問をしてきた。その後は。
A マチオモイ 5年度から工事を進め、6年度完成に向けJR西日本と協議中。

Q スロープ設置に5千万円が予算化され取り組みも必要であると
A 4年6月議会で利用者増加に向けての

Q 質問したが、現状は。
A マチオモイ 横断幕を4年8月1日、JR木津駅東側のバスロータリーに設置した。

Q 早期複線化への取り組み状況は。
A 副市長 沿線の市町が「力」を合わせ取り組んでいけるように要望している。

JR奈良線複線化の取り組みは沿線の市町で協力し取り組む



改革木津川

高岡 伸行

城山台地域に交番を

望している。

Q 城山台地域から要望がある交番設置の質問をしたが、その後は。

A 総務部 交番の機能充実プランに基づき、取り組んでいる。木津警察署は浸水リスクがあり、再編等も含め幅広く検討されている。

新型コロナウイルスの5類は妥当か

医療費などの公費負担は国へ要望

Q ①新型コロナウイルスの5類への対応は。

②医療費など自己負担にならないよう国に要望を。

③5類になっても感染力は弱まらない。対応は。

A 健康福祉部 ①必要な対応を実施。

②市長会が国に要望した。

③国や府の方針を踏まえ
Q ①ごみ減量が進んでいない原因と対策は。
②ごみ減量で温室効果ガスを減らせるのでは。
③市民と協働し、ごみの分別と減量を進め、有料

温室効果ガスの削減へ

袋は見直しを。



日本共産党

宮嶋 良造

A 市民部 ①新型コロナウイルスで在宅時間が増えた。

引き続き、ごみ減量施策に取り組む。

②地球温暖化対策実行計画を策定中。

③有料制は維持。基金の活用で減量に取り組む。

子育て支援の拡充を

Q ①府の拡充で高校一年生まで医療費は無料にできる。市も高校卒業まで無料に。

②学校給食費は無料に。

③国保税均等割は収入のない高校卒業まで無料に。

A 市民部・教育部 ①市全体の中で検討する。

②新年度も給食費に補助。

③現行どおり進める。



給食費補助を広げて給食費はゼロに



懸案であったクリーンセンターが完成

16年間で振り返り考えることは

クリーンセンター建設など前進

Q 平成19年4月、市長が初登庁時に思い描いていた将来の木津川市の姿と現在のまちの姿との相違は。

A 市長 当時は、クリーンセンターの建設、木津中央地区（城山台地区）の開発、赤田川水門の整備、各種料金の統一

Q 市長自身の中で、高く評価できる施策とまだ道半ばの施策は。

A 市長 災害対策の強化、様々な子育て施策、文化財の活用や木津川アートなど市の魅力発信、学研地区への企業誘致など地域活性化策。道半ばという事業も多岐にわたるが、子どもの出生数が激減しており、子育て支援の拡充が必要。



新風コスモスの会
福井 平和

Q 上粕駅のバリアフリー化、駅舎の改築と駅入口のバリアフリー化事業計画の概要は。

A マチオモイ JR西日本が駅舎のシンプル化事業を実施。関連して駅入口部分にスロープを市で設置する。事業期間は、5・6年度。

マスクの着用はどうなる

3月13日から個人の判断に

Q ①マスクの着用で教育のメリットとデメリットは。②マスクの着用は個人の判断によるが留意点は。③5類相当になっても公費負担は9月末まで続くのか。④高齢者は年2回のワクチン接種でよいのか。

A 教育部・健康福祉部 ①教職員や児童・生徒同士の顔の表情が分かりづらく、成長期の影響を危惧。②混雑した電車・バスや医療機関や高齢者施設はマスクの着用が推奨され、3密の回避・人と人との距離・手指消毒・換気は今後も必要。



和みの会
森本 茂

③期限を区切って継続される。④65歳以上の高齢者、基礎疾患等のある方は春夏に1回、秋冬に1回。合計2回ワクチン接種を検討している。

異次元の子育て支援を

Q ①保育所で使用するおもむきを無償提供すべき。②給食費の完全無償化を。③高校生まで医療費の無償化を。

A 教育部・市民部他 ①引き続き今後の研究課題としたい。②完全無償化の予定はない。

③府から正式に制度拡充の通知があれば、子育て支援施策を含め検討する。



子育て支援ナンバーワンの今後は（木津小学校新校舎）

**地震火災の特徴は、同時多発火災。
一度にいろいろな所で火災が発生します。**



**南海トラフ地震に備えて、消防署は
リスク分散型であるべき！**

大規模地震への備えを

Q 高齢者世帯に戸別受信機の貸与を。
A 総務部 貸与は考えていない。
Q 避難行動表・地区タイムラインを公共施設に配布し情報共有の徹底を。
A 総務部 今後、公共施設等に配布し、認識を合わせる。

Q 生理用品の備蓄が13歳50歳の女性の25%に1人3枚と非常に少ない。女性防災リーダーの意見を参考に改善を。
A 総務部 女性の意見を反映したい。
Q 避難路の幅員が10mとされる根拠は。

A 総務部 大地震で発生する延焼火災等に被害を受けない幅が10mとされている。
Q 小中一貫校をめずすのか
A 総務部 パブコメ結果は、賛成1件、反対19件。小中一貫校については、

**大規模災害への備えは万全か
災害の様相を考慮した体制が必要**



無党派 山本しのぶ

A 総務部 学校向けアンケートに、支持する回答が20%あった。
Q 現役教職員や子どもたちの意見を聞き反映される機会の提供を。
A 教育部 必要になれば、場を作りたい。

重点課題に対する取り組みは

5年度に総合計画・総合戦略改定

Q 国全体の大きな課題である人口減少問題を、本市では、どのような策を講じていくのか。
A 政策監 12年度までに合計特殊出生率1.8を目指す。総合戦略の改定では、市民アンケートやワークショップを実施し、広く市民の声を

聴きながら同出生率向上の取り組みを検討する。
Q 生産年齢人口15歳以下64歳の減少に、どのような策を講じるのか。
A 政策監 現在、外国人労働者が増え、外国アを行って、今後の状況次第では、

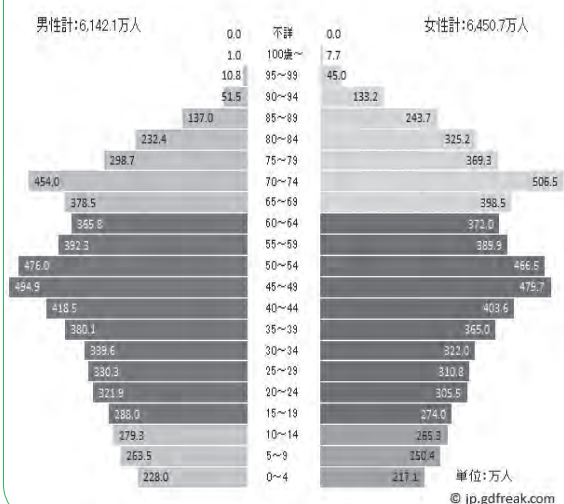
Q 学校の在り方検討に際し、旧態依然の考え方を踏襲するのではなく、子どもたちそれぞれの得意分野を伸ばす
A 教育部 希望する学習や、クラブ活動で頑張りたいと願う子どもたちには、学校選択の門戸を開くことの検討が必要と考える。



改革木津川 玉川 実二

す、真の学校選択制が必要と考えるがどうか。

日本の2022年1月1日の人口構成(住民基本台帳ベース総人口)



日本の人口構成

わたしの意見



汐崎 丈正 さん
(相楽大里)

子供会活動に 参加して思うこと

コロナの影響で制限されていた子供会活動も令和4年度はほぼ通常通りに行うことができました。

活動中の子どもたちの楽しそうな姿を見ると、子供会の目的のひとつ「異年齢の子どもたちによる、さまざまな豊かな体験」の大切さを改めて感じました。

子どもたちの習い事の増加や子供会活動による家庭への負担などから子供会への参加人数が減っていると言われていますが、今後も誰もが参加しやすい子供会が続けばと願います。

このコーナーへの投稿をお待ちしています。(200字以内)



令和5年3月28日に木津小学校の竣工式が執り行われました。
学制が公布された明治5年に創立され150年の歴史があります。

施設概要

設計／株式会社 山崎設計
施工／村本・西脇特定建設工事共同企業体
構造／鉄筋コンクリート造4階建
施設／普通教室12室、特別支援教室2室、多目的室2室、コンピューター室、家庭科室等

編集後記

64号をご覧の時は、選ばれた新議員が活動しています。本号の編集が私たち広報委員の最後の仕事になりました。

市議会の様子をわかりやすく伝えるために常に努力してきましたが、いかがだったでしょうか。

コロナ禍で「市民と議会のつどい」も十分に行えず、皆さんの意見を直接聞く機会が少なかったことは残念でした。

次の4年間は、今以上に市民参加でわかりやすい議会に努めていきます。

宮嶋 良造

広報編集委員会

委員長	西山 幸千子
副委員長	長岡 一夫
委員	玉川 実二
委員	谷口 雄一
委員	森本 茂
委員	大角 久典
委員	山本 しのぶ
委員	炭本 範子
委員	宮嶋 良造

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

議会事務局直通

TEL 0774-75-1240

FAX 0774-72-8952

E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp